

平成23年度財団法人山形県体育協会事業報告

1 スポーツ振興に関する事業

(1) 生涯スポーツの推進

- ①地域体育協会の活性化を図った。
 - ・地区体育協会連絡協議会への活動支援（8地区）
 - ・市町村体育協会との連携
- ②総合型地域スポーツクラブの活性化を図った。
 - ・総合型地域スポーツクラブへの活動支援
 - ・総合型地域スポーツクラブ連絡協議会活動支援
 - ・クラブリーダーの育成

(2) スポーツ指導者の養成と活用

- ①スポーツ指導者養成講習会の開催
- ②県スポーツ指導者研修会の開催
 - 期 日 平成23年10月30日（日）
 - 会 場 山形県総合運動公園
 - 参加者数 222名
 - 内 容 講演Ⅰ「スポーツ基本法から見える“新しいスポーツの役割”」
講師：勝田 隆 氏（筑波大学客員教授・仙台大学教授・文部科学省技術参与）
 - 講演Ⅱ「スポーツタレント発掘事業における育成プログラム構想」
講師：松井陽子 氏（JOC ナショナルトレーニングセンター
タレント発掘育成支援アシスタントディレクター）
 - 講演Ⅲ「スポーツとアンチ・ドーピング」
講師：小林大祐 氏（JADA 教育・情報シニアマネージャー）
「ベストパフォーマンスを発揮するために」
齋藤里香 氏（JADA アスリート委員・北京五輪ウエイトリフティング8位）
- ③県スポーツ指導者連絡協議会との連携

(3) 普及事業の推進

- ①県縦断駅伝競走大会への支援（震災のため中止）
- ②県少年少女スポーツ交流大会への支援
- ③県高等学校体育連盟・県中学校体育連盟への支援

(4) 競技団体活動の支援

国体競技以外の18競技に対して活動支援事業を行った。

(5) 企業スポーツ活動への支援

企業スポーツの育成と活性化を図るため、「山形県企業スポーツ振興協議会」へ支援を行った。

(6) 顕彰に関する事業

本県スポーツの発展に貢献した個人・団体に対し、本会表彰規程に基づき次の表彰を行った。また、表彰式は県スポーツ賞授賞式と合同で実施した。

- ①殊勲賞 32
- ②奨励賞 19
- ③功労賞 16・ライオンズスポーツ賞5
- ④感謝状 3
- ⑤特別賞 1 (山形商業高校女子バスケットボール部)

(7) 広報に関する事業

- ①ホームページの充実を図り、体協活動の積極的な情報の提供を行った。
 - ・体協活動の情報発信
 - ・協賛企業、会員の募集等
- ②県体協機関紙「スポーツ山形」94・95号の発行
- ③スポーツ少年団広報紙「大空に翔る」28号の発行
- ④体協要覧は公益財団法人移行後の平成24年度の作成に変更

(8) 山形県スポーツ会館管理事業

本県スポーツ団体の拠点施設として、適切な管理運営を行った。

2 少年スポーツの振興に関する事業

ジュニアスポーツの活性化と青少年の健全育成を目標に事業を推進した。

(1) スポーツ少年団の普及と活動の充実

- ①指導者の育成と指導者組織の充実
有資格者3,808名
- ②関係機関・団体との連携の充実
- ③リーダーの養成と活動環境の充実
- ④各種交流事業の充実
 - 山形県スポーツ少年大会 58名参加 8月1日～3日
 - 東北地区スポーツ少年大会 震災のため中止
 - 全国スポーツ少年大会 9名参加 8月5日～8月8日
- ⑤各専門委員会活動の活性化
 - 企画委員会 6回
 - 普及委員会 3回
 - 活動委員会 3回
 - 指導者育成委員会 3回
- ⑥少年少女スポーツ交流大会の開催 10月2日(主会期)
16種目 4,704名参加
- ⑦第9回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会の開催
3月24日～27日 870名参加

(2) 青少年の健全育成

- ①加盟団体があらゆるスポーツ活動の機会を通して、「フェアプレー精神」の高揚を図る。
- ②環境に配慮するスポーツマンの育

3 競技力の向上に関する事業

全国大会及び世界で活躍する選手の育成と支援を行った。

(1) 国民体育大会及び東北総合体育大会に係る事業

①第66回・67回国民体育大会県予選会の開催

- ・本大会（主会期）7月 8日（金）～10日（土）（県内各地）
37競技6, 254名参加
- ・アイスホッケー11月 5日（土）ヒルズサンピア山形
- ・スケート 12月10日（土）山形市総合スポーツセンタースケート場（18名）
- ・スキー 1月 9日（日）開会式・山形市蔵王温泉スキー場
10日（月）クロスカントリー（64名）
16日（月）ジャンプ・コンバインド（14名）
22日（日）ジャイアントスラローム（129名）

②第38回東北総合体育大会 8月26日（金）～28日（日）（宮城・東北各地）

※東北ブロック予選のみ実施33競技 703名参加（昨年1, 129名）

③第66回・67回国民体育大会

第66回国民体育大会本大会 10月1日（土）～11日（火）（山口県下）

33競技488名参加

天皇杯得点 713.0点 第42位（昨36位）

皇后杯得点 434.5点 第33位（昨23位）

第67回国民体育大会冬季大会

・スケート・アイスホッケー 平成24年1月28日～31日（岐阜県恵那市）

・スキー 平成24年2月14日～17日（岐阜県高山市）

天皇杯得点 125.0点 第12位（昨15位）

皇后杯得点 24.0点 第18位（昨16位）

④強化環境の整備を図るために、強化コーチングスタッフ及び強化指定選手の指定を行った。

監督・コーチ 97名

選手 374名

(2) スポーツ医科学支援体制の充実

①国民体育大会・東北総合体育大会へ帯同ドクター・帯同トレーナーの派遣を行い、医科学的サポートを行った。

・東北総体 ソフトボール、サッカー2、ラグビーフットボール、ホッケー
バスケットボール、軟式野球

・国体 バスケットボール2、軟式野球、陸上競技2、ソフトボール、競泳、
水球、ボクシング

・国体冬季 スケート、スキー（アルペン・クロカン・ジャンプ）

②アンチ・ドーピング啓発を図った。

（9月16日 国体結団式、10月30日 県スポーツ指導者研修会）

③日本体育協公認スポーツドクター及びスポーツプログラマー・アスレチックトレーナーの資格取得促進と活用を図った。

④「平成23年度スポーツ医科学研究報告書」を作成した。

(3) 優秀指導者・選手確保事業

優秀指導者・選手をスポーツ指導員及びスポーツ技術員として確保し、本県競技力の向上を図った。

※スポーツ指導員2名、スポーツ技術員3名

(4) 競技強化支援事業

競技スポーツの普及・強化を図るために、スポーツ関係団体が実施する事業を支援した。

①女子駅伝チーム（都道府県対抗女子駅伝競走大会 第14位）

(5) 国際競技大会出場監督・選手への激励 述べ37名に対して激励した。

(6) スポーツタレント発掘事業への支援

将来のトップアスリート育成を計画的に実施する「スポーツタレント発掘事業」への取り組みと支援を行った。

第1期生30名、第2期生30名 合計60名

4 財政の確立と組織体制の充実

(1) 財政基盤の確立

将来を見通した計画的な運営を行うとともに、賛助会員の拡大等を精力的に推進した。

(2) 新公益法人取得に向けた準備

10月申請、平成24年3月認可、4月新公益法人移行を目標に準備を進めた。

5 その他

(1) 東北体育協会連合会の運営

(平成23年度～24年度 東北体育協会連合会会長)

東北全体のスポーツ振興を図るための企画・調整などを行った。

《参 考》

1 開催会議等

- | | |
|---------------------------|----------|
| ① 県体協理事会 | 年3回 |
| ② 県体協評議員会 | 年3回 |
| ③ 県体協各専門委員会 | 委員会毎随時開催 |
| ④ 国民体育大会・東北総合体育大会監督会議 | 年2回 |
| ⑤ 国体県予選会実行委員会・運営委員会 | 年1回 |
| ⑥ 少年少女スポーツ交流大会実行委員会・運営委員会 | 年2回 |

2 出席会議等

- | | |
|--------------------------------|-----|
| ① 日本体育協会理事会 | 年5回 |
| ② 日本体育協会評議員会 | 年2回 |
| ③ 日本体育協会加盟団体事務局長会議 | 年1回 |
| ④ 都道府県体育協会連合会総会 | 年1回 |
| ⑤ 都道府県体育協会連合会事務局長研修会（東地区：神奈川県） | 年1回 |
| ⑥ 都道府県体育協会事務局職員研修会 | 年1回 |
| ⑦ 東北六県体育関係者会議（東北6県体育協会連絡協議会） | 年2回 |
| ⑧ スポーツ安全協会担当体育協会事務局連絡協議会 | 年2回 |